

防災まちづくりフェアを開催します!!

今年の3月4日に当会主催による「大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりフェア」を開催しました。当日は、風や雨が強いという悪天候であったにも関わらず、200名以上の方に参加いただき、防災の必要性などについて学ぶことができました。

今年度も、できるだけ多くの方々に、防災に関心を持ってもらうため、防災まちづくりフェアを開きます。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

第2回 大森中・蒲田・糀谷地区

防災まちづくりフェア

11月25日(日)

12:30 開場 13:00 開始
(15:00 終了予定)

会場：東蒲中学校

雨天の場合は内容を変更する場合があります。

入場
無料

防災専門家による講演と 災害を想定した意見交換

体育館1階 13:00~14:00

講師：(財)市民防災研究所 井上浩一氏

題目：大森中・蒲田・糀谷地区の
防災ネットワークづくり

東京直下型の地震を想定して、当地区での防災ネットワークづくりを考えます。

卓上コンロで非常食を 調理してみよう

体育館1階：14:00から随時

サラダ油でつくるコンロで非常食を調理し、試食します。

消防自動車と記念撮影

校庭：13:00から随時

蒲田消防署のご協力です。消火器を使ったゲームもあります。

ぼうさい しょうえい 防災ビデオ上映

「ちびまる子ちゃんの地震を 考える」

体育館2階：13:00から



前回の防災まちづくりフェアの様子

投てき水パックで火を消してみよう

校庭：14:00から随時

投てき水パックを使って、実際に火を消す体験をします。

地震・煙を体感してみよう

校庭：13:00から随時

起震車、煙ハウスで災害の怖さを体験します。

建替え相談会

体育館1階：14:00から

一級建築士の方が無料で建替え相談に応じていただけます。

この他にも
いろいろ
あるよ!!

スタンプラリー
同時開催

がんばっただけ、景品がもらえるよ!!

池袋本町地区へ行ってきました!!

9月22日(土)の午後、豊島区池袋本町地区(東武東上線池袋駅周辺)へ防災先進地視察会に出かけました。当日は秋晴れのもと当会員を含め17名の地区の方が参加しました。土曜日の午後ということもあり、貸切バスでの移動が計道1時間30分もかかり、足早の視察となりましたが、その分中身の濃い視察会とすることができました。

現地では、JR職員住宅跡地を暫定利用した「本町防災広場」、会の活動を通じて整備された「池袋第二小学校前井戸広場」などを、「池袋本町地区防災まちづくりの会」の会員や豊島区職員、豊島区まちづくり公社職員の方々に案内いただきました。住民の自主的な活動状況や広場整備のお話に戸惑いも感じましたが、池袋本町地区の方々の「自分達も7年前に他地区へ視察に行ったときは同じような不安を感じた」というお話に励まされもしました。

実際に防災まちづくりの活動を進められている方々の話を聞くことができ、防災まちづくりは、住民一人一人の意識の向上が大切だと感じた視察会でした。

実際に防災まちづくりの活動を進められている方々の話を聞くことができ、防災まちづくりは、住民一人一人の意識の向上が大切だと感じた視察会でした。



池袋本町地区の方々に案内していただき、地区の様子や防災施設を視察しました



池袋第二小学校の敷地を借りてできた井戸広場にはかわいらしいポンプがありました。

視察に対する本会員の主な感想

- ・「形が見えないとあせることなく、みんなでコツコツと活動していくことが大切である」、「まちづくりは10年、20年の取り組みが必要だ」という池袋本町会員の話に感銘を受けた。
- ・井戸広場の管理を8町会の方々が当番制で行っていると聞き、感心した。
- ・今回の視察を通じて、地域の特徴をどのように生かして災害上の弱点を克服していくかが課題になったと思う。オリジナリティのある防災を考えていきたい。
- ・雨水タンクを見ることはできなかったが、どこの家でも手軽に取り入れられそうで良い試みであると思った。
- ・会員の調査により移設が必要な電柱を選び、関係者に働きかけをして実際に電柱が移設されたという話は、注目すべきことである。

池袋本町地区ってどんなところ?

今回、視察した池袋本町地区は、大森中・蒲田・糀谷地区と同じ、都の防災生活圏促進事業により「逃げないですむまちづくり」活動が進められている地区です。

町会役員などで構成される「池袋本町地区防災まちづくりの会」では、防災まちづくり祭の開催や防災まちづくりニュースの発行など地域住民との交流に積極的に取り組んでいます。



短い時間でしたが、池袋本町地区の方々から有意義なお話を伺うことができました。